

# 地域レベルでの漁況海況情報の提供事業 - 定置網漁獲統計調査

久野正博

## 目的

定置網に関する詳細な漁況情報を蓄積して情報処理と伝達の迅速化を図ることにより、漁況予測を行うための基礎資料とする。

## 方法

対象漁場：県内18ブリ定置漁場のうち、波切・長島・有井を除く15漁場（図1）

調査年度：平成12定置年度（平成12年10月～平成13年7月）

調査項目：魚種別漁獲量、水温、透明度、流向

## 結果

詳細については平成12定置年度（平成12年10月～平成13年7月）三重県ブリ定置漁獲統計で報告するので、以下は結果の概略を示す。

調査漁場の魚種別漁獲量を表1に示した。総漁獲量は3,138トンで前年度比83%であった。魚種別ではマアジが641トンと最も多く全魚種の20.4%を占めた。次いでマルソウダ391トン、ワラサ267トン、ブリ239トン、その他アジ類135トン、その他ハギ類130トン、イナダ121トン、ヒラソウダ118トン、スルメイカ118トン、イサキ109トンであった。漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのはボラ（前年度比5.7倍）、ヒラソウダ（同5.2倍）、その他アジ類（同3.2倍）、その他ハギ類（同2.5倍）、イサキ（同1.9倍）、マアジ（同1.7倍）、スルメイカ（同1.6倍）、フグ類（同1.4倍）、マダイ（同1.2倍）、カンパチ（同1.2倍）であった。逆に減少した魚種はカタクチイワシ（前年度比10%）、タチウオ（同24%）、マイワシ（同28%）、ウルメイワシ（同29%）、ブリ（同30%）、サバ（同34%）、ヒラマサ（同44%）、カマス（同63%）、カワハギ（同63%）、その他イカ類（同64%）等であった。

表2にはブリ銘柄別漁獲量の年変化を示した。ブリ（6kg以上）の全漁獲尾数は29,180尾（尾数前年度比27.8%）で、近年では最高の漁獲尾数であった前年を大きく下回り、昭和52年度、平成2年度に次ぐ低水準であった。ブリの漁獲尾数が3万尾を下回ったのは、平成2年度以来10年ぶりのことである。ブリのまとまった入網は春季にみられ、3月～4月で全体の約77%、2月～5月では全体の96%が漁獲された。全漁場合計の最高は3月28日の2,077尾、次いで3月5日の1,485尾、2月28日の1,463尾、4月27日の1,455尾であった。1漁場の最高は阿曾の1,334尾（3月11日）、次いで片田の1,200尾（3月28日）であった。

ワラサ（2～6kg未満）の全漁獲尾数は62,779尾（尾数前年度比63%）で、高水準が持続していた平成元年度以降では最低の漁獲尾数であった。漁獲は3月に集中し、3月の漁獲は近年でも最高の30,774尾に達したが、2月

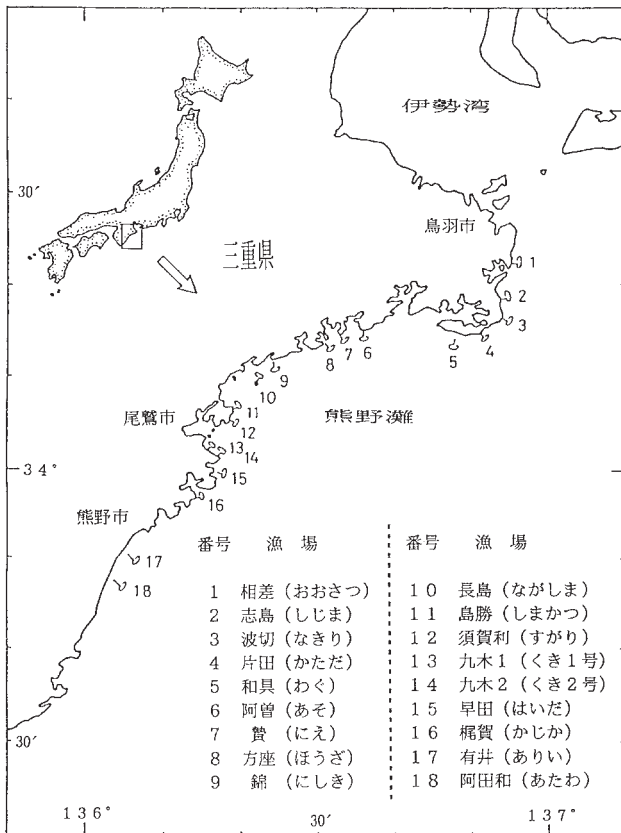


図1 定置漁場位置

表1 全漁場魚種別漁獲量 (2000年10月～2001年7月)

順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	マアジ	641,148	20.434
2	マルソウダ	390,831	12.456
3	ワラサ	267,452	8.524
4	ブリ	238,954	7.616
5	その他アジ類	134,825	4.297
6	その他ハギ類	129,870	4.139
7	イナダ	120,781	3.849
8	ヒラソウダ	118,143	3.765
9	スルメイカ	117,571	3.747
10	イサキ	108,513	3.458
11	イワシ類	94,130	3.000
12	シラ	70,232	2.238
13	サバ	67,443	2.149
14	その他イカ類	56,004	1.785
15	マダイ	32,809	1.046
16	ボラ	32,029	1.021
17	カマス	29,208	0.931
18	トビウオ	28,293	0.902
19	カンパチ	28,099	0.896
20	タチウオ	27,796	0.886
21	フグ類	26,587	0.847
22	イシダイ	25,834	0.823
23	マイワシ	25,656	0.818
24	カワハギ	20,893	0.666
25	ヒラマサ	19,847	0.633
26	カタクチイワシ	18,241	0.581
27	メジナ	17,953	0.572
28	ウルメイワシ	16,678	0.532
29	スズキ	16,061	0.512
30	サワラ	8,537	0.272
31	ハガツオ	7,092	0.226
32	ムツ	6,256	0.199
33	ヒラメ・カレイ類	5,641	0.180
34	ヨコワ	3,688	0.118
35	マグロ類	2,949	0.094
36	ウマヅラハギ	2,490	0.079
37	カジキ類	1,329	0.042
38	ヤリイカ	390	0.012
39	シマアジ	122	0.004
40	その他雑魚	177,323	5.651
合計		3,137,696	100.000

や4月～5月の漁獲が低調であった。全漁場合計の最高は3月28日の7,943尾、次いで3月26日の7,369尾であった。1漁場の最高は和具の2,827尾(3月21日)、次いで九木2号の2,751尾(3月26日)であった。

イナダ(0.5～2kg未満)の全漁獲尾数は103,578尾(尾数前年度比98%)で前年に続いて10万尾を越える好漁となった。秋季および春季に比較的まとまった漁獲がみられ、4月には40,000尾を越える漁獲があった。漁場としては志島で最も多く、次いで阿曾、和具で多く漁獲された。贄では10月に10,000尾を越える漁獲があった。1漁場の最高は和具の9,550尾(4月17日)、次いで志島の4,291尾(4月22日)、贄の4,385尾(10月6日)であった。

ブリ以外の主要魚種であるマイワシ・イワシ類、マアジ、サバ類の動向について表3に示した。マイワシ・イ

表2 ブリ銘柄別漁獲尾数の年変化(昭和50定置年度以降)

定置年度	ブリ	ワラサ	イナダ
50	116,766	39,340	15,529
51	59,202	8,859	13,618
52	32,942	23,197	17,081
53	56,314	33,722	28,522
54	26,676	42,943	57,647
55	30,174	48,547	45,857
56	42,835	42,212	42,027
57	50,182	20,012	23,677
58	61,493	29,445	86,242
59	35,588	28,682	91,930
60	51,428	90,790	75,805
61	57,365	30,346	71,282
62	45,568	58,619	52,923
63	29,482	23,913	212,372
1	48,452	141,790	106,244
2	23,531	95,668	69,701
3	40,233	120,464	60,153
4	39,515	116,342	103,796
5	95,229	80,803	149,086
6	52,901	157,425	29,764
7	61,474	90,118	25,090
8	34,920	94,161	228,612
9	44,631	148,757	55,462
10	34,915	140,558	21,998
11	104,850	99,046	105,942
12	29,180	62,779	103,578

表3 主要魚種の漁獲量(トン)の年変化(昭和58定置年度以降)

定置年度	マイワシ	マアジ	サバ類
58	1,599	91	584
59	306	63	563
60	298	110	1,313
61	483	634	655
62	446	179	542
63	612	377	980
1	1,146	385	301
2	872	853	317
3	666	644	148
4	689	1,253	654
5	807	1,312	1,010
6	379	306	255
7	350	1,199	410
8	621	792	845
9	179	535	278
10	126	408	129
11	185	382	201
12	120	641	67

「マイワシ」と「イワシ類」の合計値

ワシ類の漁獲は平成9年度以降200トン以下の低水準が続いている。平成7年度から減少傾向が続いていたマアジは、前年度の1.7倍の641トンの漁獲があり、平成12年度は全魚種で最も多く漁獲された。サバ類はわずか67トンで、昭和58年度以降では初めて100トンを下回った。

関連報文

三重県：平成12定置年度三重県ブリ定置漁獲統計，2002